

第2期 前橋市学校教育情報化推進計画(案)に係るパブリックコメントの実施結果
について

学校教育課

1 意見募集期間

令和8年2月2日(月) ～3月2日(月)

2 意見提出者及び意見数

- ・意見提出者数：7人 (Google フォーム7人)
- ・意見提出件数：7件

3 意見の概要及び市の考え方

前橋市パブリックコメント手続実施要綱に基づき、いただいたご意見に対する市の考え方を公表します。

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>○ICT 活用の利点は認めつつも、家庭での制限が難しい SNS や動画、不適切な検索といったデメリットに真剣に向き合い、保護者の切実な声に寄り添った対策を重視してほしい。</p> <p>○親が管理・制限できない端末により、学習外の誘惑や家族間のトラブル、視力低下などの健康被害を招いている現状を重く受け止めてほしい。</p> <p>○連絡用として持ち帰る必要があるなら、学習に関係ない機能の厳格な制限や、保護者が管理権限を持てる仕組みの導入など、現実に即した改善を検討してほしい。</p>	<p>ICT 活用の学習外の利用や健康被害、家庭での管理の難しさといったご指摘については、児童生徒の健全な育成における大切な視点として重く受け止めています。本市では、長期休業前の啓発チラシの配布や学校での日常的な指導を行うとともに、端末の視聴制限を実施し、適切な利用の定着に努めてまいりました。今後も、学習に関係のない範囲での機能制限の在り方や、保護者による管理の在り方などについて、どのような対応が可能か、検討を進めていきます。</p>
2	<p>○現状は端末の重さによる身体への負担や姿勢悪化が懸念されているため、デジタル化によって持ち歩く教科書を減らすなど、子供の健康面への配慮を検討してほしい。</p> <p>○低学年にとって端末の重量は心身の大きな負担となっているため、登下校の安全や健康を考慮し、学校ではデジタルに頼りすぎない教育環境を大切にしてほしい。</p> <p>○ICT 活用の推進に賛同する一方で、成長期に</p>	<p>端末の持ち帰りに伴う重さや姿勢への影響については、児童生徒の健康面の大切な視点として受け止めています。各校では、必要に応じて教科書や教材を学校に残すことができる運用など、持ち物の負担を軽減する工夫を行っています。今後は、発達段階や学習の状況を考慮し、小学校1年生においては、端末の学校保管を可能とするなど、柔軟に対応します。あわせて、紙媒体とデ</p>

	<p>おける長時間の前傾姿勢や視覚負担が、身体発達や集中力、心身の健康に及ぼす影響への配慮を重視してほしい。</p>	<p>デジタル利用の在り方についても検討していきます。</p>
3	<p>○身体面への配慮は、児童生徒の意欲向上のみならず、教職員の健康維持や負担軽減にもつながるため、市全体として統一された方向性を共有することを検討してほしい。</p> <p>○実効性を高めるため、実態把握やガイドラインの策定、専門職と連携した研修やモデル事業の実施などを、今後の施策における検討事項として位置付けてほしい。</p>	<p>ICT活用の推進と、児童生徒・教職員の健康維持の両立は本市の重要課題です。視聴負担や学習姿勢への配慮については、健やかな教育環境を整える上での大切な視点として受け止めております。今後は、教職員の負担軽減や健康増進を図るため、関係機関や他自治体からの情報収集に努めてまいります。これら外部の知見や事例を参考に、各校における効果的な支援策を講じたり研修を実施したりしてまいります。このような取り組みを通じ、心身の健康と調和した教育環境の構築に向け、教職員への支援に努めます。</p>
4	<p>○入学時の説明から数年経ってもデジタル教科書が未導入のままであり、家庭学習での利便性向上のためにも、具体的な導入見通しを明らかにするなど進展を重視してほしい。</p> <p>○端末を毎日持参させている現状に見合うよう、宿題や復習で教科書データを閲覧できるようにするなど、より実用的で効果的な活用環境の整備を大切にしてほしい。</p>	<p>デジタル教科書の導入については、国の方針や各教科書会社の提供状況を踏まえ、計画的に進めていく必要があると考えています。導入時期や活用の在り方について検討していきます。また、児童生徒が無理なく家庭学習に生かせる授業づくりや学習用コンテンツの充実に努めていきます。</p>
5	<p>○諸外国での学力低下による揺り戻しの事例を教訓に、安易なICT導入ではなく、基礎学力を着実に養うための「紙を用いた学習」の価値を改めて重視してほしい。</p>	<p>紙を用いた学習には、基礎的な知識の定着や集中して取り組む姿勢を育てるうえで大切な役割があると受け止めています。一方で、デジタルの良さを生かすことで学習の幅が広がる場面もあることから、学校では紙とデジタルの双方を目的に応じて組み合わせながら活用しています。今後も、児童生徒の発達段階や学習内容に応じて、紙の学習の良さを大切にしつつ、無理のない形で適切な活用のバランスを考えていきます。</p>
6	<p>○ICT活用による効率化は期待できるものの、世代間によるスキル差や導入までの負担感</p>	<p>教職員が安心してICTを活用できるようにするためには、教職員のスキルや経験の違</p>

	<p>を考慮し、教職員への十分な研修機会を確保してほしい。</p> <p>○研修だけでなく、現場を支える ICT 支援員などの人的支援について、具体的な予算措置を含めた実効性のあるサポート体制を重視してほしい。</p>	<p>いに応じた学びの機会や支援体制が大切であると受け止めています。市では、基本的な研修の実施や、学校の ICT 活用を支援するスタッフによる機器設定やトラブル対応などの支援を行っています。今後も、学校現場の状況や課題を踏まえつつ、研修内容の充実や ICT 支援員の資質向上を図ってまいります。</p>
--	---	---

※取りまとめの都合上、同様のご意見をまとめた上、適宜要約しています。